

P検スキルマップ 2級 (出題範囲) <スペシャリストに要求される ICT活用スキル>

カテゴリ	サブカテゴリ	スキル	詳細スキル
コンピュータ知識	-	コンピューター関連の技術用語を説明できる	インターフェイスとはどのようなものか説明できる スクリプトについて説明できる シンクライアントとはどのようなものかを説明できる クラウドコンピューティングとはどのようなものかを説明できる
		情報の数値単位を物理量(大きさ・速さなど)として把握できる	IC関連の物理量(大きさ・速さなど)を数値表現できる 身の回りの事象に対して、物理量(大きさ・速さなど)の計算ができる
		利用部門における業務システムの開発・運用方法を説明できる	EUCとはどのようなものか説明できる 利用部門と情報システム部門の役割分担について説明できる 利用部門における情報活用の推進方法を説明できる
情報通信ネットワーク	-	情報通信システム関連の技術用語を説明できる	サーバーの特徴と役割を説明できる VoIPとはどのようなものか説明できる CGIとはどのようなものか説明できる XMLとはどのようなものか説明できる cookieとはどのようなものか説明できる
		グループウェアの機能を説明できる	グループウェアの導入目的を説明できる グループウェアの活用方法を説明できる
		ホームページの作成と公開ができる	ホームページ作成のためのツール、言語について説明できる ホームページを公開することができる ホームページで使用できる動画ファイルについて説明できる ホームページで表示できる画像フォーマットの特徴について説明できる
		LAN・WANシステムの構成要素を説明できる	有線LANシステムの構成要素を説明できる 無線LANシステムの構成要素を説明できる WANとはどのようなものか説明できる
		TCP/IPの機能と特徴を説明できる	IPv4とIPv6の違いを説明できる IPアドレスとはどのようなものか説明できる グローバルアドレスとローカルアドレスの違いを説明できる TCP/IP以外のプロトコルを説明できる
		ネットワークのトラブル対処ができる	ネットワークにログインできない場合の対処方法を説明できる ネットワーク資源にアクセスできない場合の対処方法を説明できる
		情報モラルと情報セキュリティ	-
情報セキュリティ対策を実践できる	情報セキュリティの3大要素について説明できる 情報セキュリティ対策の指針を作成できる データ通信時に行う暗号化の種類を説明できる デジタル署名の仕組みを説明できる		
電子商取引の仕組みについて説明できる	B to Cの具体的な事例と注意すべき点について説明できる B to Bの具体的な事例と注意すべき点について説明できる ビジネスにおけるSNSの活用方法とトラブル回避のための注意点を説明できる		
企業における個人情報やプライバシー保護の重要性を説明できる	企業が持つ個人情報の取り扱いに関する注意事項を説明できる 企業として、個人情報を取り扱う際の注意すべき具体例を説明できる 個人情報保護法に照らして、どのようなことが違反となるか説明できる 企業として、プライバシーを保護するための注意事項を説明できる		
パスワードの機密保持方法を説明できる	シングルサインオンについて説明できる パスワードの種類と危険性について説明できる パスワード管理時の注意事項を遵守できる		
秘密情報を取り扱う上での注意事項を遵守できる	モバイル機器のセキュリティを維持することができる 秘密情報の取り扱いや管理ができる		
ICTを活用した問題解決	意思決定		

P検スキルマップ 2級 (出題範囲) <スペシャリストに要求される ICT活用スキル>

カテゴリ	サブカテゴリ	スキル	詳細スキル				
ICTを活用した問題解決	意思決定	与えられた情報を活用し、自らの環境の下に必要な物の選択や行為の決定を、ICTの科学的な理解のもとで行うことができる	文脈の中から意思決定に必要な複数の情報を抽出することができる				
			複数の情報を、カテゴリを決めて整理・分けできる				
			整理された情報を関連知識と結びつけ、科学的に分析・計算することができる				
	システム分析と設計	新しい体系、方式、組織などを設計する際、対象のモデル化と設計の手順化を行うことができる	結果の妥当性を文脈に照らして再考し、評価することができる				
			文脈で得られた情報を読み解き、解析・設計の対象を明確化できる				
			問題解決に要求される解析・設計の手順を分析することができる				
		既存の体系、方式、組織の中の課題を見つけ、関連諸要素を解析することで解決策を立案することができる	分析結果をもとに、作業を最適なステップに分解することができる				
			一連の作業の流れを、適切な手段を用いて分かりやすく図表等に表現できる				
			文脈で得られた情報の性格付けを行い、課題を可視化することができる				
	不測の事態への対応	トラブル、割り込み、予定からの逸脱、第三者の誤りの修復などへの対応や予防措置を講じることができる	可視化された情報をもとに、解析・設計に必要な情報を抽出することができる				
			抽出した情報をもとに解析・設計を行い、解決策を得ることができる				
			得られた結果の汎用性を確認することができる				
プレゼンテーション	スライドの編集ができる	スライドの編集ができる	得られた複数の情報を重要度、緊急度を意識し関係付けできる				
			整理した情報を推論や仮説をもとに批判的に評価することができる				
			表・図の作成と編集ができる	表・図の作成と編集ができる	社会的・技術的に受け入れられる解決方法を複数、選ぶことができる		
					適切な方法、表現で第三者に問題解決の方法を伝えることができる		
					スライドショーを実行できる	スライドショーを実行できる	ブレースホルダーの移動とサイズ変更ができる
							ブレースホルダーの書式設定とリセットができる
							スライドの挿入と削除ができる
	スライドの移動とコピーができる						
	アウトラインの機能が利用できる						
	マスターの編集ができる						
	既存のプレゼンテーションのスライドが利用できる						
	アニメーション効果の設定ができる						
	テキストボックスの挿入ができる						
	テキストボックスの編集ができる						
	ワードアートの挿入ができる						
	画像や図を挿入できる						
	画像や図の編集ができる						
	オブジェクトの移動ができる						
	図形の作成ができる						
	図形の編集ができる						
	複数の図形が編集できる						
	グラフの挿入ができる						
	グラフの編集ができる						
	表の挿入ができる						
	表の編集/移動/サイズ変更ができる						
	配布資料の作成や印刷の設定ができる	配布資料の作成や印刷の設定ができる	スライドショーの開始と終了ができる				
			スライドショー実行中のキー操作(次・前・任意スライドの表示)が説明できる				
スライドショー実行中のキー操作(途中終了)が説明できる							
スライドショー実行中にペンの利用ができる							
画面切り替え効果や時間の設定ができる							
目的別スライドショーの設定ができる	目的別スライドショーの設定ができる	目的別スライドショーの設定ができる					
		リハーサル機能の利用ができる					
		目的に応じた印刷対象の種類を説明できる					
		目的に応じた印刷対象の設定ができる					
		印刷のオプション設定ができる					
		ノートの利用ができる					
		ページの設定ができる					

P検スキルマップ 2級 (出題範囲) <スペシャリストに要求される ICT活用スキル>

カテゴリ	サブカテゴリ	スキル	詳細スキル
ワープロ	-	文書の編集ができる	テンプレートの機能を理解している
			オリジナルのテンプレートを作成し活用できる
			フォームの機能とフォームの利用に適した文書が説明できる
			フォームフィールドの書式設定ができる
			アウトラインの機能の説明ができる
			アウトラインレベルの作成と編集ができる
			文書をWebページとして保存できる
			異なるアプリケーションデータをリンク貼り付けできる
			異なるアプリケーションデータを埋め込みできる
			変更履歴を設定できる(変更履歴、コメント)
			変更履歴を活用できる(変更履歴の記録)
			ハイパーリンクの機能の説明ができる
表計算	-	表計算ソフトの操作ができる	マクロ機能を理解している
			マクロを記録できる
			マクロを実行できる
			入力規則を設定できる(入力時メッセージ、エラーメッセージ)
			集計機能を設定できる
			集計機能を理解している
			ピボットテーブルとピボットグラフ機能の説明ができる
			ピボットグラフを作成できる
			ピボットテーブルで集計方法を変更できる
			ピボットテーブルのデータの表示方法の変更ができる
			ピボットテーブルの設定ができる
			コメントを設定できる
計算式のエラー表示の意味を説明できる			
計算式のエラーのチェックができる			

<「2級 総合実技テスト」と「ワープロ、表計算カテゴリ」について>

「2級 総合実技テスト」では、ワープロソフトと表計算ソフトを複合的に活用して「複合成果物」を作成する問題が出題されます。この問題には、本スキルマップ(2級)の「ワープロ、表計算カテゴリ」のスキル項目に加え、準2級以下の同カテゴリ内スキル項目も出題範囲となります。